

公益社団法人におい・かおり環境協会の取組について

1. 協会の概要

公益社団法人におい・かおり環境協会は、昭和 44 年に悪臭公害研究会として発足。

その後、二度の名称変更を経て、現在は、消・脱臭設備(剤)、香料等の研究・開発・製造・販売会社、消・脱臭設備の設計・施工会社など、会員 226 社(団体)、429 名により、単に悪臭を低減するだけでなく、快いかおり環境の創造を後押しする事業も合わせて推進している。

平成 23 年 4 月には、これまでの社団法人から、新たに公益社団法人としての認定を受け、におい問題に関して社会的に貢献できる事業をさらに強化していくこととしている。

2. 東日本大震災における取組

(1) 仮設トイレ等用の消・脱臭剤の支援物資提供

災被災地における臭気対策支援として、協会では環境省との協議に基づき、消・脱臭剤を製造・販売している会員へ、仮設トイレや避難所室内向けの消・脱臭剤の寄附を募り、合計 1 万 7,722 点を用意した。

協会では、現地の災害対策本部の要望を確認の上、会員より寄贈された消・脱臭剤を被災地へ送付した。

平成 23 年 5 月 19 日まで、岩手県、茨城県及び宮城県（仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、南三陸町及び山元町）の 3 県 8 箇所にて 1 万 6,952 点を搬送している。

<http://www.orea.or.jp/PDF/support.pdf>

(2) 被災地における臭気対策を取りまとめ

震災後の 3 月に、汚泥やタンク、仮設トイレに関する臭気面の配慮事項について取りまとめを行い、協会ホームページに掲載している。

<http://www.orea.or.jp/PDF/odor.pdf>

また、5 月には、腐敗した魚介類の悪臭対策について、技術者が宮城県内の被災地を視察した上で取りまとめを行い、協会ホームページに掲載。

6 月 6 日～8 日に実施した被災地での悪臭対策アドバイザーの巡回では、これらの内容についてより詳しく助言等を行っている。

<http://www.orea.or.jp/PDF/support2.pdf>